



ふるさと応援大使、「鶴」です。

西中学校の同級生3人組バンド。アマチュア時代は、当時の北公民館で腕を磨き、平成20年にメジャーデビュー、市役所で記念ライブを行う。その後、ライブ活動を中心に、映画やアニメの楽曲を手がけるなど多方面で活動。昨年は「産業まつり」にも出演。鶴ヶ島駅や市役所でアーティスト写真なども撮影している。
(左から 笠井快樹さん(ドラム)、神田雄一朗さん(ベース)、齊藤市長、秋野温さん(ボーカル・ギター)、「つるゴン」:市役所にて)



「歩く this way」

市では、鶴ヶ島の魅力を全国に発信してもらうため、9月13日、当市出身の3人組バンド「鶴」をふるさと応援大使に任命しました。

鶴ヶ島の「鶴」です

「鶴」は、平成15年に、西中学校の同級生3人で結成されたバンドです。デビュー当時から、「何で「鶴」なの?」と聞かれるたびに、「埼玉の鶴ヶ島出身だから」と、市の知名度向上に貢献してきました。さらに今年、9月に発売された新曲『歩く this way』のミュージックビデオには、市役所や「つるゴン」が登場するなど、当時から現在に至るまで、「ふるさと鶴ヶ島」へのブレない想いを大切に活動が続けていることがうかがえます。

ベースの神田さんは、「結成15年目にして、(応援大使になると)いう夢がかない、本当にうれい。これからは、堂々と鶴ヶ島をPRしていきます」と、力強く話してくれました。

47都道府県で鶴ヶ島をPR

現在、「鶴」は47都道府県ツアーを開催中(平成31年3月まで)。「鶴」が全国で活動することで、鶴ヶ島の名前も広がっていきます。ドラムの笠井さんは、「鶴ヶ島で「自由ののびのび育った」からこそ、今の「鶴」があります。

全国ツアーや各地でのラジオ出演などを通して、全国の皆さんに、鶴ヶ島の魅力をドンドン伝えたいと宣言。

どこまでも「鶴ヶ島愛」

ボーカル・ギターの秋野さんは、外に出て、あらためて鶴ヶ島の温かさを感じているひとり。「何か特別なものがあるわけではないけれど、穏やかで住みやすく、自然災害も少なくて…そして何より僕らみたいに、ふるさとを「想う」人が育つまち。近い将来「鶴フェス」を開催して、全国から鶴ヶ島に人を呼びたいです」と夢を語ってくれました。これからも「鶴」ならではのPRをよろしくお願いします!



編集後記

15年という長い間、全国各地で「鶴ヶ島!」と言い続けてきてくれた、ふるさと応援大使の「鶴」。大使のお願いも快く引き受けていただき、ありがとうございます。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしくお願いします!「きっといくつになってもゴールがないのは生きている証拠だ〜♪」ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ
 ✉ 10200001@city.tsurugashima.lg.jp



“はじめて1人で乗れたよ!”
ふるやまかえで
 古山楓ちゃん(2歳4か月)



“大きくなったら
 沢山虫捕りしたいな☆”
ほつきせん
 保月繕ちゃん(1歳)

笑顔の天使



■ 11月号には『社協だより第136号』、『市議会だより第185号』、『第33回鶴ヶ島産業まつり』チラシが折り込まれています。